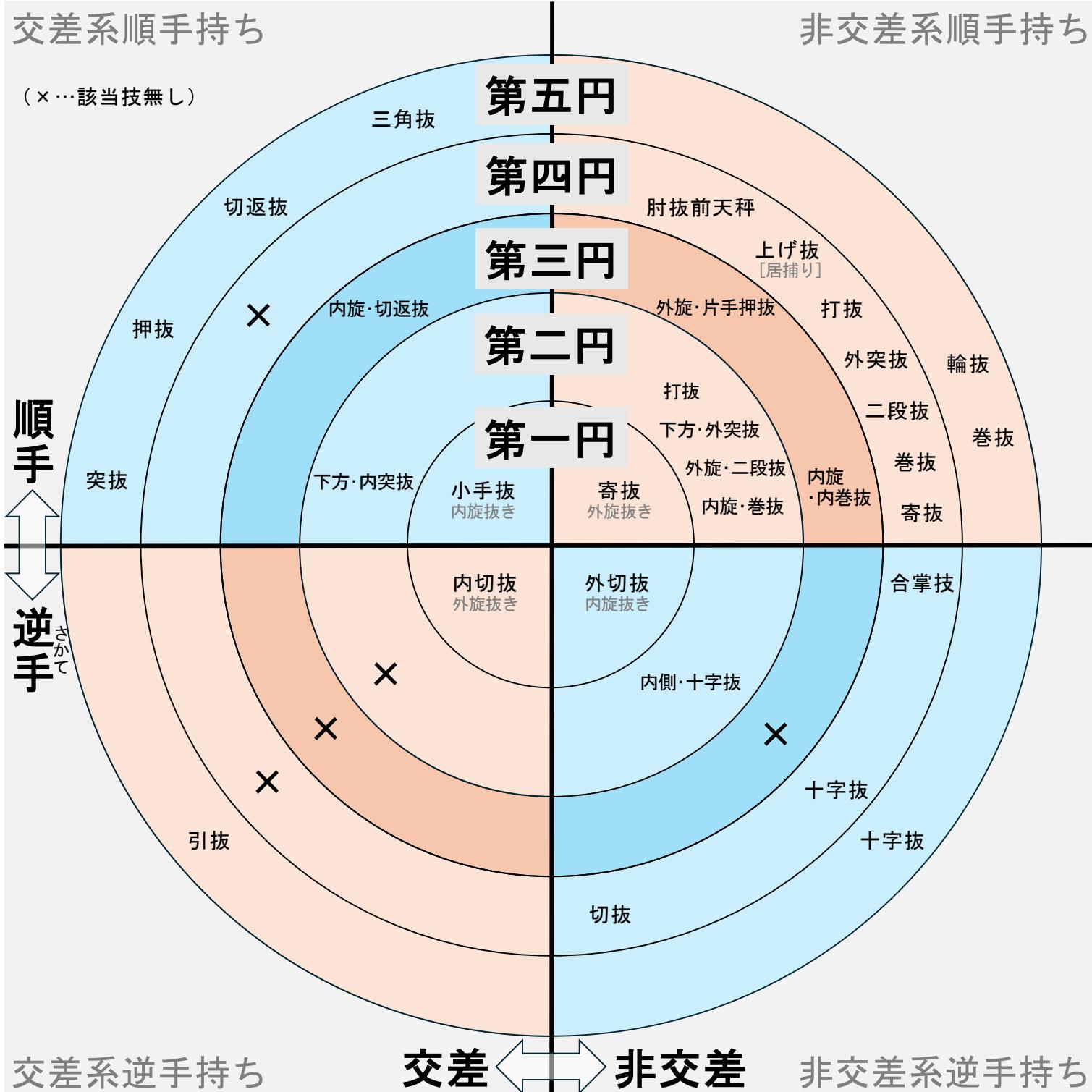


少林寺拳法 手首抜き 基本構造

【片手抜きの基本前提：引き 押し 妨害】



第一円…手首抜きの基本四系
第二円…握りは同じ、力が変化する
第三円…握りが変化する
第四円…両手抜き
第五円…諸手抜きは少林寺拳法の法形のみ
(実際は変化多数)

第四円(第一/二円の派生)
・少林寺拳法の場合、非交差のみ
・両手を持たれても抜いた後は寄抜か切抜

※両手抜きの法形は対構え
※片手抜きの法形は交差系は対構え、非交差系は開き構えが原則
※内切抜(外旋抜き)・外切抜(内旋抜き)は制作者の方法を当てはめた